

## 目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

# SEA IWAKI

いわき経済同友会

3月号／2011年3月1日発行

## 3つの目的

- 1つ よい会社をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

## 創立24周年記念 公開講演会

平成23年2月22日(火) 会場／いわきワシントンホテル椿山荘

演題 地域の自立は“いわき”から 講師 元岩手県知事・総務大臣  
野村総合研究所顧問 増田寛也氏

### いわき経済同友会 創立記念公開講演会



増田寛也氏



## 講演要旨

私は、自治省から出向で茨城県の課長を五年間、その後岩手県知事を三期十二年、安倍内閣と福田内閣で総務大臣をつとめました。

茨城で交通課長をしていた頃は、いわきにも来ましたが今回は久しぶりです。その頃、つくばエクスプレスを最初から担当していました。茨城空港にも関わりましたが、百里の自衛隊滑走路共用という計画が、新しい滑走路まで作ってしまったのは国の政策の間違いと思っています。岩手の花巻空港も福島空港と同じように問題を抱えていましたし、青森・秋田・山形のように一県に二空港も作っては共倒れしかねないと感じています。

岩手では、経済を強くして地域での雇用拡大を考え、トヨタの生産拠点が結集してきたので、知事として「形がつけられたなア」と思っています。

本題の「暴走する？首長」ですが、夕張市のように何代か前の市長が膨大な予算を組んで「メロン城」だとか「大観覧車」を作って失敗し、会社であれば倒産する状態になっています。市長の暴走を議会が抑えられなかつた「追認議会」の責任もあり、見て見ぬ振りをしていた、道や自治省の責任もあるでしょう。しかし一番大きな責任は住民にあります。任せっきりにしていた「お任せ民主主義」ではダメなんです。市長でも議会でも、不都合ならリコールで引きずり降ろすべきです。

次に「地方分権を考える視点」については、国との関係で自治体が自由である「団体自治」、県や市を住民がキチンとコントロール出来る「住民自治」、この両方が必要です。自分や家族で解決する自助、住民が協力しての共助、最後に税金を使っての公助という「自助・共助・公助」が地方自治の原則です。身近な問題は、出来るだけ身近

な自治体で解決する仕組みが必要でしょう。これが「基礎自治体中心」という考え方です。国の仕事を県に下ろし、それを市町村に下ろす形になる事が多いですが、そうなると県は市町村の頭を抑える「悪代官」になりかねない。身近な市町村が、本当に住民の立場を考えた行政が出来る仕組みを考える必要があります。

統一地方選挙が近づいていますが、今「議会の機能」が注目されています。日本の場合予算の提案権が議会には無いので、議員が何かしようとする「首長にお願いする」という形で行政にすり寄ってゆく。首長の任期が長ければそれが繰り返されて弊害が出てきます。結果として「追認議会」になり、首長の暴走が抑えられない。「首長」と「議会」が対等の立場でオープンになる必要があるでしょう。そして、議会だってズレてる所が多いし首長が暴走する場合もあるので、最後の手段としてリコールで立ち上がる「代表民主制を補完する直接民主制」が必要になる場合もあります。

「地方分権の動き」としては、これまでの流れは「要項が付いた補助金」のように、国が決めた政策に対しての自由度を高める「団体自治」が主流でした。これは首長中心の改革は出来るが、それだけでは不十分で「住民自治」が働くように「議会」がもっと力を付ける仕組みが必要でしょう。

「議会」が真の実力を付ける為に、何でもかんでも「国会」で決める今のやり方を変えて、地域の実情に合わせて自治体が独自に条例で決められる仕組みが必要でしょう。国会は外交や防衛と言った事柄を扱えばよいのであって、地方を良くしたい議員さんは地方議会に来てもらいたい。国會議員が衆参両議院で七百二十人もいるのは多すぎると思います。米国の上院だって百人でやっているわけですから。そうすれば、地方の実状に合わない



「補助金」で、貴重な税金の無駄遣いも無くなる。

「今後の課題」としては、制度の壁はあるが「ここを自由にすれば“いわき”はもっと良くなる」といったシュミレーションを積み上げてゆく、市長・知事が熟議をして成果を出してゆく「住民自治」を強化するのが大事でしょう。

「広域行政の推進」に関しては、身近な問題とは別に、医療や介護保険のように母数が大きいほど成り立ち易いものを道州制のような大きな組織で、弱い地域を支えてゆく考えもあります。東北の場合はどうしても仙台が中心ですが、福島の場合は北関東の意識が強く、東北の道州制に馴染めないことも理解できますが。

「都市福祉政策の融合」についても、開発許可などの土地に関する国の権限を委譲して、地方で考えないと解決が難しいでしょう。

いわきも広域でいろいろな顔や歴史を持っているでしょうから、その資産を生かして地域の価値創造をしてゆくことが大事でしょう。岩手では「地吹雪ツアー」とか「遠野の炭焼きツアー」でも結構集客している例があります。

最後に家内から「必ず伝えるように」と言われたことですが、私が住んでいる港区の商工会が、昨年の秋に「全国の物産展」を開きました。大船渡の連中が出展しているので見に行った時、いわき市が出店した店で貰った葉書を家内が応募したら「アンコウ鍋」セットが当たった。これは大変美味しかったです。



## 懇親会風景

**誕生日プレゼント**  
3名の会員にリガーベコニアが贈られました。



左から代表幹事、吉田泉さん(2月12日生)、  
松崎貴弘さん(2月16日生)、見上寛幸さん(2月17日生)

# 2月グループ会報告

## 経営秘訣研究グループ会

■日 時 2月24日(木曜日)18:30~

■場 所 建設会館 4F会議室

●内 容 2月度グループ会は今年度のまとめ作業を行いました。これまでの勉強会の内容を振り返りつつ、経営の秘訣についてさらにディスカッションをいたしました。各テーマ時に出席できなかった方にも各社のやり方等を教えていただき、経営のヒントを得ることができました。

## 経営品質向上グループ会

■日 時 2月28日(月曜日)10:30~

■場 所 ひめゆり総業

●内 容 会員企業の理解を深める為、ひめゆり総業様を訪問しました。同社 山口専務取締役(当会副代表幹事)の案内にて、事業所の見学(埋立地、浸出水処理施設等)の後、以下事業内容の説明をして頂きました。

- ・同社は、以下管理型産業廃棄物の処分事業を行っている。
  - ①安定型：ガラス、コンクリート、プラスチックなど水が出ない産業廃棄物の処理場
  - ②管理型：減量無害化処理後で水が出る産業廃棄物の処理場(いわき市に2社)
  - ③遮断型：六価クロムなどの産業廃棄物の処理場(東北に1社)
- ・全国の産業廃棄物処理事業者の底上げ
- ・地位向上をはかる為、同社も蓄積された技術を開示し、処理場の技術力を共有化するマニュアルの作成／販売に参加している。

以上その他、多くのお話をと活発なQ&Aがあり、大変有意義な会員企業訪問でした。



その後、内郷で人気の「SU-SHIダイニングもぐら」にて昼食しながら親睦を深めました。

## スポーツ交流グループ会

■日 時 2月25日(金曜日)18:30~

■場 所 からしまボール湯本

●内 容 会員相互の交流促進と健康増進を目的として、スポーツ交流グループ会は、今年度、第3回目となるボーリング大会を開催いたしました。2月の事業計画では、ウインタースポーツに挑戦ということで、高萩副グループ長を中心に計画を立てておりましたが、例年に無い寒

波の襲来により、会員の皆様の安全面を考え、ボーリング大会と致しました。参加者を募集いたしましたところ、当グループ会、意外の方からも参加のご応募を頂き、15名の参加表明が御座いました。(当日2名のキャンセルあり)定刻となり、2ゲームの競技を行い、ストライクやスペアを取るたびに、メンバーから、拍手や歓声があがり、楽しく健康にゲームを楽しみました。

優勝は、高崎副グループ長(2回目)でした。

## 資質向上グループ会

■日 時 2月26日(土曜日)8:30~

■場 所 植田・錦～北茨城方面

●内 容 寒い朝の集合ではあったが、日中は晴天になり8時30分に好スタート。

1 小名浜富岡にある鹿島神社を参拝。バイパスの移転で現在地に。江戸時代に泉藩本多家の信仰に支えられ、本殿の彫刻の見事さは飯野八幡宮や住吉神社にも見劣りしない。見事な建造物や彫刻は、いわき市にとって他に誇れる財産ではないかと感嘆しあった。拝殿左側には神楽殿があり、見事な神輿や大太鼓は一見の価値がある。境内の一角に、当時の大和田弥一市長の碑文を見つけ、参加された大和田さんも感激…。

当時の木村守江県知事の碑文共々、話に花が咲き境内を賑わした。

2 植田高倉町の高蔵寺の本殿で、木村住職より「感謝のこころと仏心」の法話を拝聴。本殿内の拝観と説明を受けて後、目指す三重の塔と阿弥陀堂へ足を急がせる。杉木立の中にシャガの縁が、歴史の重みを感じさせる長い階段と共に趣を添えている。県の重要文化財としての三重塔は3箇所。高蔵寺の三重塔は他と異なり、特異な造りでと成っており、中に入りその構造が200数十年の年月に寸分の狂いも無く今日に受け継がれている事に、参加者全員感心しきりであった。記念の写真を一枚…、パチリ。三重の塔の上に、観音堂があり千手観音が祭られており、思わず心洗われる容姿に手を合わせた。



3 錦町・御宝殿熊野神社：国指定重要無形民俗文化財

「稚児・田楽風流」神事と民族芸能が一体となって行われる、いわき市の誇る重要な文化遺産の一つ。大同2年(807年)に勧請し、810年に菊田郷の総鎮守となり今日に至る。その歴史と人々との関わりは、悠久の昔から境内に鎮座する市指定天然記念物の大欅と、裏手に滔々と流れる鮫川は見続けてきた…。祭礼は7月31日と8月1日に、是非拝観を。

4 北茨城市：茨城県天心記念五浦美術館。平成9年11月に会館。すばらしいロケーションに囲まれ、岡倉天心や五浦の作家達のみならず、芸術文化活動の拠点として知られている。蔵書の横山大觀・下村觀山・菱田春草・木村武山の作品は一見の価値あり。

5 今回の目的は、何と言っても「本格あんこうどぶ汁」。元祖「いわきのあんこう鍋」の座を渡してしまった感のある地魚料理。肝と野菜の濃厚な、あんこうどぶ汁。昼時ばかりとは思えない程の、各部屋満室の盛況に参

加者全員期待にワクワク。待つことしばし…。ノンアルコールビールで乾杯～。刺身・鰯の濃厚な煮付け・漬物。焼き付かない様に鍋をかき回して…、いっただきま～す。味については、参加者の方に聞いて下さい。来月は地元食材の糀を生かした店で打上。



## 3月グループ会 ご案内

- 経営秘訣研究グループ会／だいこん家  
3月25日(金) PM 7:00～  
今年の内容を振り返りつつ、締めの懇親会を行います。
- 経営品質向上グループ会／郷ヶ丘にて茶道体験、海道  
3月29日(火) PM18:00～21:30  
平成22年度まとめグループ会  
茶道体験(郷ヶ丘)18:00～18:45及び、海道(平中町)  
19:30～21:30にて懇親を深める。
- スポーツ交流グループ会／サラブレットカントリークラブ ホテル美里  
3月10日(木) AM9:31～まとめゴルフコンペと懇親会の開催  
9時31分スタート、ダービーインコース  
18時30分から、ホテル美里にて打上
- 資質向上グループ会／  
3月9日(水) PM 6:00～  
草木台・向志満にて打上 旧東急イン前集合(マイクロバス)
- いわきブランド研究会／  
未定
- 政策提言室／  
未定

## FMIいわき「いわき経済同友会だより」

下記の日時にオンエア放送されますので、お聴き下さい。

- 毎週月曜日 17時45分からです。  
(約5分間)

### 【3月予定放送】

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| ・ 3月 7 日 第4グループ会  | 須藤新太郎氏 |
| ・ 3月 14 日 会員増強委員会 | 田村 哲朗氏 |
| ・ 3月 21 日 例会委員会   | 佐久間一枝氏 |
| ・ 3月 28 日 企画総務委員会 | 小沼 郁瓦氏 |

※インターネットでも、FMIいわきがお聴きできますので、17時45分になったら、下記のところをクリックして下さい。  
<http://www.simulradio.jp/>

## 情報委員会より

3月号の広報誌発行が、今回大変遅れました。本来でしたら、3月20日前後に発行する予定でありましたが、この度の東日本大震災(3月11日)に伴い、いわき経済同友会の活動が全て休止した関係により、6月の発行となりましたので、ご理解を頂きますよう宜しくお願ひ致します。

なお、いわき経済同友会のホームページを活用されますように、重ねてお願ひ致します。ホームページにつきましては、事務局までお電話頂ければ幸いです。

## いわき経済同友会 ご入会のお薦め

## いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

- 会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。  
お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

発 行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事  
編 集 情報委員会 委員長 山名二郎  
副委員長／阿部晴康・岩尾英子・坂本和久・清水雅昭  
委 員／田村慎太郎

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館 4F  
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211  
<http://www.seaiwaki.jp>  
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp